

西大滝のエノキ（市天然記念物）

所在地 飯山市大字照岡 3119
所有者 山本 秀実（神奈川県伊勢原市在住）

指定日 平成12年3月27日

指定理由

1604年に藩主の命により道標として植栽されたもの。市内のエノキでは最も大きく、豪雪地帯でこのような巨木は珍しい。また、古来より谷街道の道標として知られており貴重である。

樹高20m 胸高周囲3.62m

経過

- 平成25年6月 枝が市道上に大きく張出して危険なため枝を伐採する。
平成26年 所有者の山本さんが木のすぐ脇に車庫を建てたが、基礎工事の際にかなり木の根を傷める。（山本さんの話より）
平成27年春 ほとんど芽吹きがないため様子を見ることにする。
平成28年5月 今年も芽吹きがないため森林生態学を研究されている先生に見てもらう。

先生の見解（参考意見）

平成28年5月8日（日）現地確認の結果、枯死していると思われる。

- ・エノキの葉は1枚も確認できない。一部に葉が見られるが、これは別の樹種でツルマサキというツル植物と思われる。

